

東日本大震災から11年目の追悼

～富樫副大臣が宮城県庁で献花～

東日本大震災の発災から11年目を迎えた令和4年3月11日、亡くなられた方々の鎮魂とご冥福をお祈りするため、被災した宮城県内沿岸市町において追悼行事が行われました。

例年、各市町で追悼式典を開催していましたが、今年は多くの市町が昨年の10年目を区切りとし、献花台を設置する自由献花等に変更しています。

自由献花にすることにより、式典にかかる時間が短縮され、また、参加者が分散化し、新型コロナウイルス感染防止対策の点においても、被災者遺族や一般献花者等がより参加しやすい形となり、多くの方々が献花に訪れました。

また、追悼行事として仙台市では「キャンドルナイト」、多賀城市では「万灯会」、岩沼市で「希望の灯火」が行われ、多くの方々が鎮魂の明かりに祈りをささげました。

復興庁からは富樫復興副大臣が東松島市の追悼式に出席するとともに宮城県庁において黙礼、献花を行い、また、仙台支所職員も管内市町で献花を行い、ご冥福を祈りました。



富樫副大臣による宮城県庁での献花



村井知事による七ヶ浜町公園墓地での献花



名取市メモリアル公園慰霊碑での献花会場



岩沼市追悼行事「希望の灯火(あかり)」

新しい東北 令和3年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰
「新しい東北」ビジネス創業支援事業2021 顕彰式
～西銘大臣が顕彰状を授与～

令和4年3月13日仙台市にて、令和3年度「新しい東北」復興・創生の星顕彰及び「新しい東北」ビジネス創業支援事業 2021 顕彰式が開催されました。

「新しい東北」復興・創生の星顕彰は11団体(うち宮城県内からは4団体)、「新しい東北」ビジネス創業支援事業 2021 は1団体が受賞しました。

仙台支所管内からは被災農地の復興に向け活動している山元町の「株式会社やまもとファームみらい野」が受賞し、西銘大臣より島田孝雄代表に顕彰状が贈られました。このほか、宮城県からは気仙沼市の「一般社団法人まるオフィス」、「株式会社インディゴ気仙沼」、石巻市の「株式会社巻組」が表彰されています。

その後、西銘大臣、顕彰団体の皆様、そして田村選定委員長も交えて車座意見交換が実施され、各顕彰団体からの活動報告を聞いた後、斎須議官の司会進行でインタラクティブな意見交換が行われ、西銘大臣は今後の復興行政に活かしたいと述べられました。



顕彰状を授与される島田代表(右)



車座意見交換会での西銘大臣



車座意見交換会会場



受賞者による記念撮影

【編集後記】

◇本年度より宮城復興局が石巻市に移転し、仙台市には仙台支所が設置され松島町以南の沿岸10市町を主として担当おります。様々な復興事業を行う過程において、ワンストップ窓口として対応するとともに地域の方々の相談・要望などにも丁寧に対応いたします。

◇「仙台支所復興だより」では主に管内の復興に関する行事や話題、復興状況などの情報の発信を行います。地域のイベントにも積極的に参加して情報収集し、共有していけたらと思います。

◇仙台支所職員一同、震災復興に関して現場第一主義を徹底し、被災地に寄り添い、被災地の声を復興行政に反映させていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(支所次長 齊藤)